

富山駅前巨大ロボット立像を

(現状分析)

- ・ 富山駅前の再開発で「とやマルシェ」、「MAROOT」が出来た事により人の流れが出来、若者の往来が増えて活気が出てきた。
- ・ しかしながら活気のある地域は丸の内交差点までの範囲に限定されており、富山城や総曲輪まで足を延ばす人は僅か。
- ・ 丸の内-富山城間のエリアには市役所・県庁などの公的機関が集中しているため、「お固い」イメージがある。
- ・ 富山県には多彩な魅力があるのに外部へのアピールが下手。特性を生かしきれていない。

(更なる賑わいのためには)

- ・ 観光客を富山駅周辺エリアに長く留めるための方策が必要。
- ・ 金沢(鼓門)、福井(恐竜ロボット)のような、インパクトのあるシンボル・モニュメントが欲しい。
- ・ 「富山ならではの」という特色を出した物で「お固い」「地味」なイメージを払拭。
- ・ 「また富山に来たい」と思わせるような仕掛けを。



旧 NHK 富山放送会館跡地に巨大ロボット立像
「クロムクロ」の建立を提案します！

「クロムクロ」とは？

- ・ 富山県南砺市に居を構えるアニメ制作会社「P.A WORKS」(ピーエーワークス)が2016年に制作したアニメ作品。
- ・ 黒部ダム建設現場の地下から発掘されたロボット「クロムクロ」と、宇宙からの侵略者の戦いが富山県の各地で展開される。
- ・ 背景には富山の観光名所が色々登場(黒部ダム、新湊大橋、富山駅前、富山きときと空港、立山町、室堂etc・・・)
- ・ 物語冒頭には富山市役所・県庁前噴水・北日本新聞社屋・県民会館・旧 NHK 富山放送会館前での大立ち回りが展開され、その後は富山城址公園内にて停止状態となる。

期待できる効果

「クロムクロ」立像建立にて期待できる効果として以下の三点がある。

- ・ 国内外からの集客効果
- ・ アニメ聖地巡礼
- ・ 富山の歴史と未来へ続く文化の発信

・国内外からの集客効果

現在、日本国内で巨大ロボット立像を観光資源としている都市は地図中の赤丸部分。

- ・東京お台場 ガンダム
- ・〃 稲城市 ボトムズ
- ・神戸市 鉄人28号
- ・福岡市 ガンダム
- ・大阪万博 ガンダム

海外でも日本アニメ人気は高く、各地に立像が立てられている。

クロムクロも海外での評判は上々で、海外からのインバウンドも見込める。

・アニメ聖地巡礼

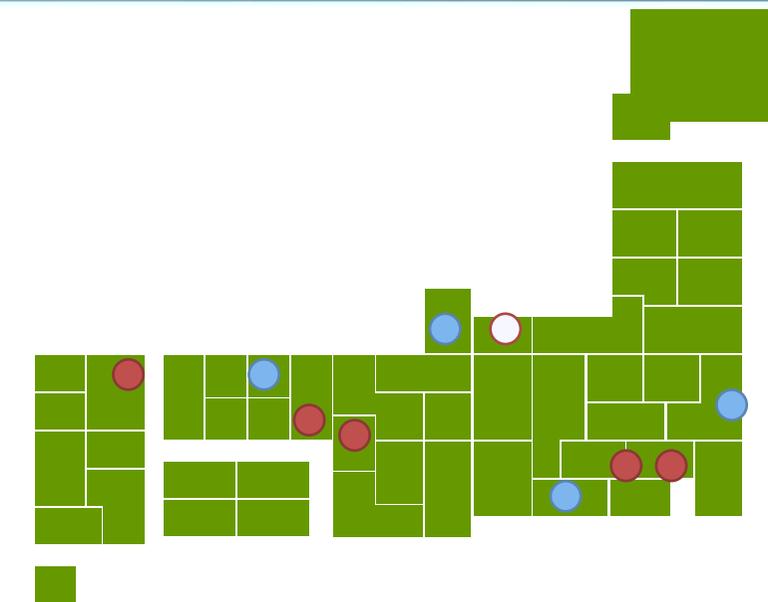
アニメ作品の舞台や関わりのある場所を巡る

「聖地巡礼」は、観光収入を見込む上で無視できない要素となっており、目立つ成功例として以下が挙げられる。

- ・茨城県大洗町「ガールズアンドパンツァー」
- ・静岡県沼津市「ラブライブサンシャイン」
- ・鳥取県境港市「水木しげるロード」

隣の石川県湯涌も「花咲くいろは」の舞台として多くの観光リピーターを呼んでいる。

クロムクロ立像を富山駅前に置くことで、劇中の実景と合わせて観光できる点は、他には無いメリットとなる。



・富山の歴史と未来へ続く文化の発信

立像を起点とした、各施設への導線確保。

県民会館・郷土博物館・古志の国文学館と連携した歴史文化の発信。

古志の国文学館は過去にP.A WORKSの企画展「面白い箱」や細田守展を開催した実績もあり、同様の物を常設展として市街地施設(市民プラザ・富山きらり等)もしくは、アーケード内に開設して観光客を誘導。

ガラス美術館・市立図書館との相乗効果により、西町周辺の活性化を図る。